



米穀卸販売管理支援サービス「EncycloORYZA」のエンハンス提供開始

扶桑電通株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：有富英治）は、1983 年から販売を開始し、業界 No.1 の全国米穀卸様 50 社の導入実績を持つ米穀卸販売管理システム「EncycloORYZA*」をエンハンスし、9 月より提供を開始いたしました。米穀卸様に特化した「販売管理パッケージシステム」として従来の米穀卸ならではの「搗精」「玄米管理」「精米管理」「トレーサビリティ」機能を拡張し、出荷制限日を設けてフードロスを防止する SDGs への取り組み強化や、受発注業務の電子化、基幹システムのクラウド化など米穀卸業界の DX を推進いたします。今後も米穀卸業界を取り巻く環境の変化に対応し、お客様の課題やニーズにお応えできるよう、より良いサービスのご提供に努めてまいります。

*「ORYZA」とはラテン語の学名で「稲」を意味しており、製品名の「ORYZA」は当社の商標登録です。

■ EncycloORYZA の概要

米穀卸の業務を全て網羅し、情報管理の一元化を実現

 はORYZAの特徴



■ EncycloORYZA の特徴

1. 米穀卸売の取扱商品を全て網羅

- (1) 玄米、精米のきめ細やかな商品管理を実現
- (2) 米穀卸特有の包材管理や副産物管理に対応

2. 充実した搗精工程情報管理をシステム化

- (1) 張込～全ての実タンクを管理し、製品出来高まで管理
搗精工程は「低温倉庫」～「製品倉庫」に至る「タンク別搬送実キ口」を全て管理
- (2) FA 連携を標準で装備
FA 連携により川上～川下の情報を一括管理（トレーサビリティ/歩留り管理/製造原価計算の自動化等）
搗精工程管理のシステム化により証明や監査の手間を削減

◎搗精工程管理の流れ

搗精工程は「低温倉庫」～「製品倉庫」に至る「タンク別搬送実キロ」を全て管理



FA連携(手入力)により川上～川下の情報を一括管理(トレーサビリティ/歩留り管理/製造原価計算の自動化など)

3. 米穀卸特有の商流全てに対応

(1)玄米購入における買受契約や卸間売買に対応

(2)受託搗精における寄託者管理や、委託搗精処理に対応

一部の商流対応(事前契約/学校給食会向け受託搗精など)のシステム化による情報管理を充実

本ソリューションについて、詳しくは下記 URL をご参照ください。

<https://www.fusodentsu.co.jp/ict/detail/EncycloORYZA/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

【本サービスに関するお問い合わせ】

扶桑電通株式会社 ビジネス推進統括部

〒104-0045 東京都中央区築地 5-4-18 汐留イーストサイドビル

電話：03-3544-7191 e-mail：ictconveni@fusodentsu.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

扶桑電通株式会社 コーポレートイノベーション本部 経営企画室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-4-18 汐留イーストサイドビル

電話：03-3544-7213 e-mail：keiki@fusodentsu.co.jp

※プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。